

# NEWアダージオR

変額個人年金保険Ⅱ型2003  
＜15年運用コース＞

## 特別勘定の月次運用レポート 2024年7月末現在

- 市場概況
- 特別勘定の運用状況
- 組入投資信託の運用レポート

### お客さまが負うことになる投資のリスクについて

●変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や積立金額・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、積立金額、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

### 変額個人年金保険に含まれる手数料などについて

- 変額個人年金保険は預金等ではなく、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
- 解約、一部解約（特別引出を除く）をした場合や年金受取開始日以降に年金を一括受取る場合等には、一時払保険料相当額の最低保証はありませんので、受取総額が一時払保険料相当額を下回ること（元本割れリスク）があります。  
\*この商品にかかる費用は、以下の「運用期間中の費用（「保険関係費用」「運用関係費用）」と「年金受取期間中の費用（「年金管理費）」の合計となります。また、特定のお客さまには「解約控除」がかかります。
- 保険関係費用：ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、積立金額に対して年率2.37%の割合で積立金額から毎日控除されます。
- 運用関係費用：ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して年率0.44%程度（税抜年率0.40%程度）の割合で信託財産から毎日控除されます（費用は小数点第2位まで表示しています）。信託報酬のほか、お客さまにご負担いただく費用には、信託事務の諸費用、有価証券の売買手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担しており、公表されるユニットプライスはこれらの費用を控除した後のものです。したがって、これらの費用はお客様に間接的にご負担いただいております。また、運用関係費用は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。
- 年金管理費：年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
- 解約控除：ご契約日および増額日からその日を含めて7年未満の解約、一部解約（特別引出を除く）をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額※の7%～1%の割合で解約日の積立金額または一部解約請求額から控除されます。  
※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちのいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。  
!詳しくは、商品パンフレット、「特に重要なお知らせ/ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

### 【引受保険会社】オリックス生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。  
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

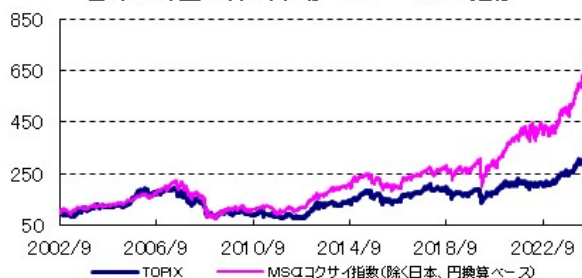
# 市場概況

代表的な指標の騰落率		1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	▲ 1.22%	1.81%	7.76%	17.88%	43.32%
	TOPIX(東証株価指数)	▲ 0.55%	1.86%	9.53%	20.31%	46.98%
日本債券	NOMURA-BPI総合	▲ 0.10%	▲ 1.43%	▲ 2.35%	▲ 3.58%	▲ 8.14%
外国株式	MSCIコクサイ指数(除く日本、円換算ベース)	▲ 5.69%	2.08%	12.45%	24.65%	59.50%
外国債券	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	▲ 2.13%	1.81%	6.03%	13.76%	18.56%
外国為替	米ドル対円為替レート(仲値)	▲ 5.36%	▲ 2.84%	3.31%	8.14%	39.23%

日経平均株価(円)の推移



日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

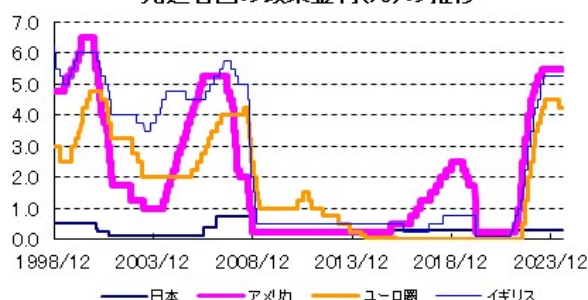


\*上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



\*上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

- 当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

## 特別勘定と主な投資対象の投資信託

### 特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計 (百万円)
	株式		債券				投資信託	現預金 その他	
	日本	外国	日本	外国					
世界バランスファンド 50 SS	●	●	●	●	SMAM・グローバル バランスファンド(標準型)VA*	三井住友DSアセット マネジメント株式会社	97.4%	2.6%	2,762

\* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

### 投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
SMAM・グローバル バランスファンド(標準型)VA*	国内株式、外国株式、国内債券、外国債券を主要投資対象とするマザーファンドに主として投資することにより、日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。株式と債券の基本配分比率はそれぞれ50%とし、株式、債券へバランスよく投資します。

\* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

## 特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

世界バランスファンド50 SS



期間	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
期間収益率	-3.06%	0.42%	5.82%	12.38%	22.69%	94.13%

- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド50 SS

【特別勘定が投資する投資信託】

SMAM・グローバルバランスファンド(標準型)VA  
<適格機関投資家限定>

【運用会社】

三井住友DSアセットマネジメント株式会社

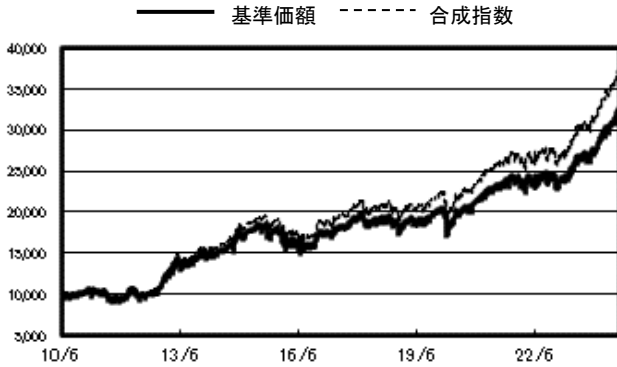
主要投資対象

日本を含む世界の株式及び公社債。

運用方針

国内株式、国内債券、外国株式および外国債券を主要投資対象とするマザーファンドに主として投資することにより、日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。株式と債券の基本配分比率はそれぞれ50%とし、株式、債券へバランスよく投資します。

## ● 設定来運用実績



■ 基準価額は、信託報酬控除後です。

■ 合成指数は、2010年6月10日を10000として、TOPIX(東証株価指数、配当込み)、NOMURA-BPI(総合)、MSCIコクサイインデックス(配当込み、円ベース)、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分で加重平均し、三井住友DSアセットマネジメントが独自に指数化しております。

■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果を約束するものではありません。

## ● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	-2.95%	1.02%	7.28%	15.55%	208.98%
合成指数	-2.99%	1.20%	7.83%	16.81%	254.60%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

※ 設定来は、2010年6月10日を基準とします。

## ● 基準価額および純資産総額

	7月31日	前月比
基準価額(円)	30,898	-940
純資産総額(百万円)	2,690	-132

## ● マザーファンド組入比率

(2024年7月31日現在)

	ファンド	基本資産配分
①国内株式	24.2%	25.0%
②外国株式	23.4%	25.0%
株式合計(①+②)	47.6%	50.0%
③国内債券	8.6%	10.0%
④外国債券	39.8%	40.0%
債券合計(③+④)	48.4%	50.0%

個別資産の市況の推移としては以下の通りです。

国内の株式市場は、下落しました。上旬は、米ハイテク株高や米利下げ期待などが支えとなり、TOPIX(東証株価指数)は史上最高値を更新しました。中旬は、政府・日銀による為替介入の観測から、米ドル安・円高が進行し、大幅下落に転じました。下旬は、国内企業の2024年度4-6月期決算発表が始まったものの、株式市場を反転させる材料にはならず、米ドル安・円高進行も重石となり、軟調な展開が続きました。月末は、日銀の追加利上げ決定や、米国による対中半導体規制からは日本が除外されるとの報道を受け、銀行株や半導体関連株を中心に反発しました。

国内の長期金利(10年国債利回り)は、前月末比ほぼ横ばいとなりました。上旬は、米金利が上昇し、国内金利も上昇して始まりました。中旬には、インフレ指標の落ち着いたことを受けた米金利低下や為替の円高反転を受け、国内金利は低下に転じました。その後、与野政治家から利上げを後押しする発言が相次いだことから金利は低下幅を縮小しましたが、為替の円高進行を受けて利上げ観測が後退し、金利は再度低下しました。しかし月末には、金融政策決定会合で日銀が追加利上げを決定し、無担保コール(金融機関同士のごく短期の資金の貸借)翌日物金利を0.25%程度としたことから、長期金利は前月末と同程度の水準まで上昇しました。

外国株式については、米国株式市場は上昇しました。FRB(米連邦準備制度理事会)のパウエル議長が景気鈍化の可能性を指摘したことやCPI(消費者物価指数)が市場予想を下回りインフレ警戒感が後退したことにより早期の利下げ期待が高まり、相場は月央にかけて上昇しました。その後は、高値警戒感や大統領選挙を巡る不透明感などから下落に転じました。また、バイデン政権による半導体分野での対中政策の厳格化観測などの政治的リスクや消費の息切れに対する懸念も相場の重石となり、月間の上昇率は小幅にとどまりました。欧州株式市場も上昇しました。米国の利下げ期待の高まりが支援材料となりましたが、EU(欧州連合)が中国のEV(電気自動車)に対して輸入関税を引き上げたことから、対中関係悪化懸念や中国の消費が停滞しているとの見方がマイナス材料となりました。

外国債券については、米国では、長期金利は低下しました。ISM(全米供給管理協会)景況感指数やCPI等の経済指標が市場予想を下回ったことから、金利は低下しました。インフレ圧力の鈍化傾向に加え、雇用関連指標にもピークアウト感が出てきたことから、9月にも利下げが開始されるとの見方が強まりました。さらには、FOMC(米連邦公開市場委員会)後にパウエル議長が9月利下げの可能性を示唆したことから、金利は一段と低下しました。ユーロ圏では、長期金利(ドイツ10年国債利回り)は低下しました。ユーロ圏の景況感の悪化や米金利の低下などを背景に金利は低下しました。ECB(欧州中央銀行)理事会では、市場予想通り政策金利が据え置かれました。

外国為替市場では、米ドル/円は、大幅に下落しました。日本の政府・日銀による米ドル売り円買いの為替介入の観測や米国での利下げ見通しなどから、円高となりました。月末には、日銀が追加利上げを行ったことに加え、FRBのパウエル議長が9月利下げの可能性を示唆したことから、一段と円高が進みました。ユーロ/円は、下落しました。欧州政治不安の後退はユーロの支援材料になりましたが、米ドル/円の下落に連れてユーロも対円下落しました。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド50 SS

【特別勘定が投資する投資信託】

SMAM・グローバルバランスファンド(標準型)VA

<適格機関投資家限定>

【運用会社】

三井住友DSアセットマネジメント株式会社

## 主要投資対象

日本を含む世界の株式及び公社債。

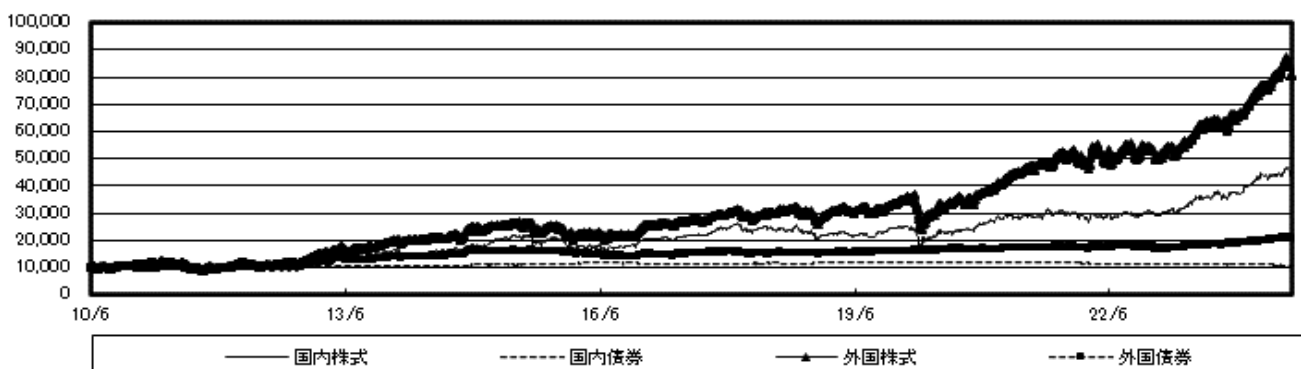
## 運用方針

国内株式、国内債券、外国株式および外国債券を主要投資対象とするマザーファンドに主として投資することにより、日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。株式と債券の基本配分比率はそれぞれ50%とし、株式、債券へバランスよく投資します。

### ● SMAM・グローバルバランスファンド(標準型)VA(以下、当ファンド)は次のマザーファンドを主要投資対象とします。

- ・国内株式: 国内株式インデックス・マザーファンド(B号)
- ・国内債券: 国内債券インデックス・マザーファンド
- ・外国株式: 外国株式インデックス・マザーファンド
- ・外国債券: 外国債券バッシブ・マザーファンド

### ● マザーファンドの基準価額の推移



- 各マザーファンドの基準価額は、2010年6月10日を10,000とした指数として表示しております。
- 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果を約束するものではありません。

### ● マザーファンドの騰落率 ※下記は実際の投資家利回りとは異なります。「当ファンド設定来」は、2010年6月10日との比較です。

		1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	当ファンド設定来
国内株式	ファンド	-0.54%	2.06%	10.84%	23.11%	348.10%
	ベンチマーク*1	-0.54%	2.07%	10.83%	23.07%	346.72%
国内債券	ファンド	-0.11%	-1.45%	-2.37%	-3.61%	9.25%
	ベンチマーク*2	-0.10%	-1.43%	-2.35%	-3.58%	9.01%
外国株式	ファンド	-5.57%	2.58%	13.54%	26.90%	701.61%
	ベンチマーク*3	-5.54%	2.65%	13.68%	27.20%	728.34%
外国債券	ファンド	-3.61%	0.26%	4.75%	11.62%	103.66%
	ベンチマーク*4	-3.68%	0.26%	4.76%	11.74%	104.94%

\*1: TOPIX(東証株価指数、配当込み)

\*2: NOMURA-BPI(総合)

\*3: MSCIコクサイインデックス(配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発・公表する指数を三井住友DSアセットマネジメントが独自に円換算したものです。

\*4: FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCの開発・公表する指数を三井住友DSアセットマネジメントが独自に円換算したものです。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド50 SS

【特別勘定が投資する投資信託】

SMAM・グローバルバランスファンド(標準型)VA  
<適格機関投資家限定>

【運用会社】

三井住友DSアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本を含む世界の株式及び公社債。

運用方針

国内株式、国内債券、外国株式および外国債券を主要投資対象とするマザーファンドに主として投資することにより、日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。株式と債券の基本配分比率はそれぞれ50%とし、株式、債券へバランスよく投資します。

## マザーファンドの状況(2024年7月31日現在)

【国内株式】

マザーファンド名: 国内株式インデックス・マザーファンド(B号)

● 組入上位5業種

	業種名	比率
1	電気機器	17.0%
2	銀行業	8.3%
3	輸送用機器	7.7%
4	卸売業	7.4%
5	情報・通信業	7.1%

※マザーファンド純資産総額対比

● 組入上位5銘柄

	銘柄名	比率
1	トヨタ自動車	3.9%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.6%
3	ソニーグループ	2.4%
4	日立製作所	2.0%
5	三井住友フィナンシャルグループ	1.9%

※マザーファンド純資産総額対比 (組入全銘柄数 1,728)

【国内債券】

マザーファンド名: 国内債券インデックス・マザーファンド

● 債券種別構成

国債	80.1%
政府機関債	9.2%
地方債	0.0%
金融債	0.0%
事業債	8.6%
円建外債	0.0%
その他	1.6%

※マザーファンド純資産総額対比

● 残存年限別構成

1年未満	0.0%
1-3年	19.4%
3-7年	28.3%
7-10年	16.3%
10年以上	35.6%

※マザーファンド純資産総額対比

● 修正デュレーション

ファンド	8.60年
ベンチマーク	8.60年

● 組入上位5銘柄

	銘柄名	比率
1	83 政保道路機構	9.2%
2	27 西日本高速道路	8.6%
3	90 20年国債	3.0%
4	153 5年国債	2.1%
5	9 30年国債	1.8%

※マザーファンド純資産総額対比 (組入全銘柄数 149)

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド50 SS

【特別勘定が投資する投資信託】

SMAM・グローバルバランスファンド(標準型)VA  
<適格機関投資家限定>  
【運用会社】

三井住友DSアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本を含む世界の株式及び公社債。

運用方針

国内株式、国内債券、外国株式および外国債券を主要投資対象とするマザーファンドに主として投資することにより、日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。株式と債券の基本配分比率はそれぞれ50%とし、株式、債券へバランスよく投資します。

## マザーファンドの状況(2024年7月31日現在)

【外国株式】

マザーファンド名:外国株式インデックス・マザーファンド

● 国別投資比率

国名	比率
アメリカ	73.0%
イギリス	3.8%
カナダ	3.2%
スイス	3.0%
フランス	2.8%
その他	13.4%

※マザーファンド純資産総額対比

● 通貨別構成

アメリカドル	75.8%
ユーロ	8.8%
イギリスポンド	4.0%
カナダドル	3.2%
スイスフラン	2.7%
その他	4.9%

※マザーファンド純資産総額対比

【外国債券】

マザーファンド名:外国債券パッシブ・マザーファンド

● 国別投資比率

国名	比率
アメリカ	46.9%
中国	10.2%
フランス	7.6%
イタリア	7.0%
ドイツ	6.1%
その他	21.8%

※マザーファンド純資産総額対比

● 通貨別構成

アメリカドル	46.9%
ユーロ	30.6%
中国元(オフショア)	10.2%
イギリスポンド	5.3%
カナダドル	2.0%
その他	4.7%

※マザーファンド純資産総額対比

● 組入上位5銘柄

	銘柄名	国名	業種	比率
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	5.1%
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.8%
3	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.1%
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.7%
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	1.6%

※マザーファンド純資産総額対比

(組入全銘柄数 1,227)

● 残存年限別構成

1年未満	0.6%
1-3年	28.5%
3-7年	34.6%
7-10年	12.8%
10年以上	23.1%

※マザーファンド純資産総額対比

● 修正デュレーション

ファンド	6.47年
ベンチマーク	6.53年

● 組入上位5銘柄

	銘柄名	国名	償還日	比率
1	US TREASURY N/B 1.625 05/15/26	アメリカ	2026/5/15	0.9%
2	CHINA GOVERNMENT BOND 2.38 11/15/26	中国	2026/11/15	0.8%
3	US TREASURY N/B 2.25 03/31/26	アメリカ	2026/3/31	0.6%
4	CHINA GOVERNMENT BOND 2.68 08/12/26	中国	2026/8/12	0.6%
5	CHINA GOVERNMENT BOND 3.72 04/12/25	中国	2025/4/12	0.5%

※マザーファンド純資産総額対比

(組入全銘柄数 750)

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。